

様式第4号（第5項関係）

会議録

会議の名称	第2回結城市総合計画審議会
開催日時	令和7年11月10日（月）10時30分から
開催場所	市役所1階 多目的スペース
出席者	<p>委員 佐藤（仁）委員、田中委員、小笠原委員、間井田委員、塩森委員、大木委員、野原委員、石嶋委員、鈴木委員、石田委員、佐藤（ちさと）委員 ※土田委員、大里委員、菊地委員欠席</p> <p>事務局 西條企画財務部長、窪田次長兼企画政策課長、湯山課長補佐兼政策調整係長、古俣係長、広瀬主任</p>
議題	<p>(1) 第6次結城市総合計画後期基本計画策定〔素案〕について (2) 第3期結城市まち・ひと・しごと創生総合戦略（重点プロジェクト）〔素案〕について (3) 計画策定のスケジュールについて (4) その他</p>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	なし
審議内容	<p>(1) 第6次結城市総合計画後期基本計画策定〔素案〕について (2) 第3期結城市まち・ひと・しごと創生総合戦略（重点プロジェクト）〔素案〕について</p> <p>(主な発言内容) ○市南部の民間路線バスの運行状況について確認したい。 【事務局】三和地区の利用者が主であるが、江川地区の北南茂呂から古河方面へ茨城急行の運行路線がある。</p> <p>○障害者相談支援事業や、認定農業者等育成事業における指標が減少目標なのはなぜか。 【事務局】障害者相談支援事業は、対象となる子どもの数が減っていくことを想定し減少としている。また、認定農業者育成支援事業は、農家の集約化・大規模化を想定した施策実施による減少であるが、収入や耕作面積は増える想定となっている。</p>

- 人口減少の中では、減少する目標値でも、全体として良くなっていくことや地域の持続性を考えて設定がされている。
- 「子育て世帯すこやか支援事業」（1歳・3歳の誕生日祝い金支給）については、必要性や効果面から見直しした方がよいのではないか。
【事務局】昨年実施した受給者アンケートではオムツ等の子育て用品に使われており、目的に沿った使途であると認識している。
- 地域自立支援事業の指標（延べ配食数）について、一人当たりの回数等の方がいいのではないか。
【事務局】支援プログラムは人により異なり、一律の回数を指標化するのは難しい。この指標は事業の実施量をメインに置いており、これだけで全てを表しているわけではない。行政評価において活動指標だけでなく、定量・定性両方の効果を把握している。
- 市の「美観」について、空き店舗や太陽光パネル設置、ヤード化などで景観が崩れていることに危機感を感じる。美観維持と税収のバランスが難しい中で、クオリティを保つための取組をどのように進めるのか。
【事務局】総合計画では市街地の歴史・文化的景観の維持や自然環境保護といった全体的な方向性は示している。個別に結城市景観計画や太陽光条例、森林計画等を作り、適切に誘導・調和を図るよう努めているが、個人の部分と公益のバランスにおいて、自治体単独では、規制が難しい。課題は認識しているため、国への働きかけなど対応を考えていく。
- 人口増は非常に大変な課題である。（出生数が7～8年前の400人から今は200人程度）。シームレスなサービスなど、高い目標を持って頑張ってほしい。
- ごみに関する記載において、最近問題が大きくなっている「リチウム電池」の文言や、消防署用地取得費用については、計画に入れることを検討してほしい。
- 多文化共生については、外国人優遇とならないよう記載に配慮とともに、業務改善・効率化に繋がるAI活用については、より具体的に記載をお願いしたい。
- 全世代・全員活躍型のまちづくりと日本版C C R Cの取組は合致する話であり、推進するための部署設置や先進事例の調査・研究が必要ではないか。また、推進意向自治体に手上げしてはどうか。

	<p>【事務局】調査・研究を行っていくとともに、まずは国情報把握や近隣自治体の状況確認等に取り組んでいく。推進意向自治体への手上げについては前向きに検討したい。</p> <p>○総合計画は「P D C A」における「P」であるが、「D C A」へ繋げるためには市民と市職員それぞれがしっかりと理解し、危機感を持って取り組んでいくことが大切であり、具体的な進め方はあるか。</p> <p>【事務局】総合計画の仕組みでは、「D」にあたる「実施計画」と、実行後に行う「C・A」にあたる「行政評価」があり、計画策定後のP D C Aサイクルを構築している。</p> <p>○これから行政は、成功を計画した取組ではなく、トライ・アンド・エラーの時代である。実証実験や社会実験を行い、「うまくいかなかつたことは次の成功のためのステップ」という考え方を、地域の中で共有していく必要がある。</p> <p>○現状を変えることはとても難しく、できないことが沢山ある中で、できることを思い切ってやっていくということが必要である。</p> <p>○こどもたちにもワークショップやディスカッションといった「可能性や楽しみ」を感じられる地域性のある取り組みを通して、市の現状を知るとともに、郷土愛やUターンにつながる動機付けができるといいのではないか。</p> <p>(3) 計画策定のスケジュールについて (4) その他 意見なし</p>
問合せ先 (事務局)	結城市役所 企画財務部 企画政策課 政策調整係 T E L 0296-34-0404（直通） F A X 0296-32-7123 e - m a i l kikaku@city.yuki.lg.jp
その他	